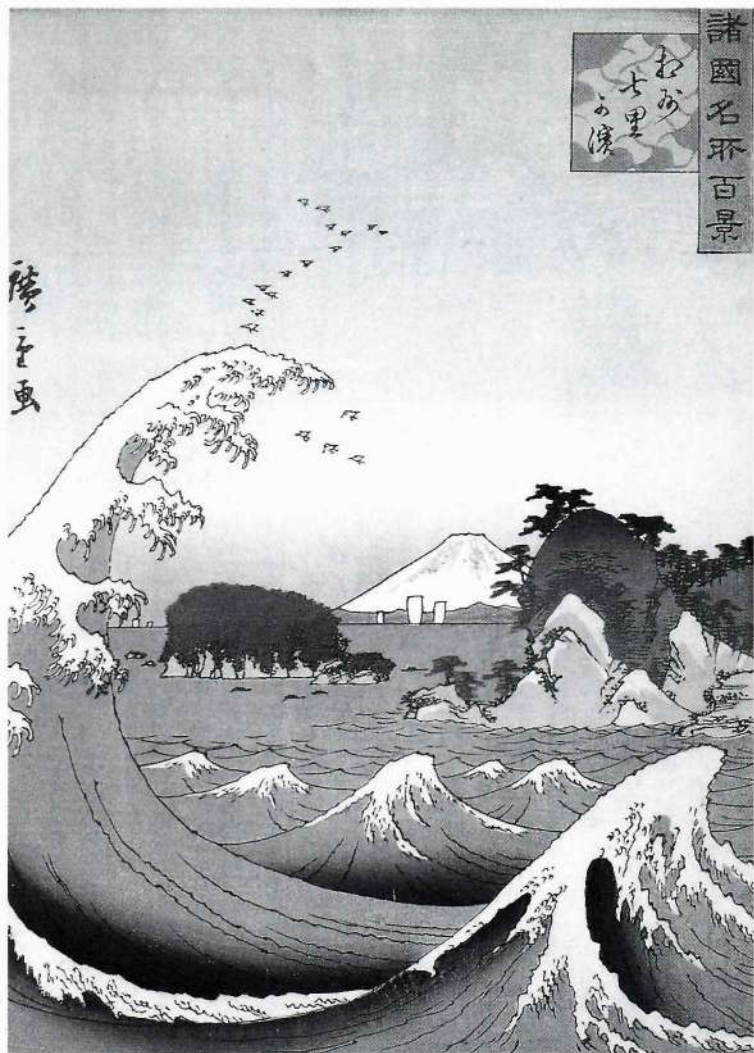




奉祀 日本三大弁財天

江島神社

郵便番号251-0036

神奈川県藤沢市江の島2丁目3番8号

電話 0466 (22) 4020

FAX 0466 (22) 7928

450!



中津宮

## 一、御祭神

奥津宮 多紀理比賣命（たぎりひめのみこと）

中津宮 市寸島比賣命（いちきしまひめのみこと）

辺津宮 田寸津比賣命（たぎつひめのみこと）

御祭神は福岡の宗像大社や広島島の厳島神社と御同神である。天照大神が須佐之男命と誓約をされた時に生まれました神である。

この三女神は江島大神と称し、海運、漁業、交通の守護神とされ、古くは江島明神と呼ばれていたが、その後仏教との習合によって弁財天女とされ江島弁財天として信仰されるに至り、海の神、水の神のほかに幸福、財宝を招き、芸道上達の功德を持つ神と仰がれた。明治初年の神仏分離によって純粋な神社信仰に復したが江島弁財天の信仰も盛んで商売繁盛、財宝福德、芸道上達等の諸祈願を託す人々が多い。

## 二、御由緒

昔、御窟を本宮と言い、奥津宮を本宮御旅所、中津宮を上宮、辺津宮を下宮と言った。社伝によると欽明天皇十三年（五五二年）「欽明天皇の御宇、神宣により詔して宮を島南の竜穴に建てられ一歳二度の祭祀この時に始まる」とあり海運、漁業、交通の守護神として祀られてきた。文武天皇四年（七〇〇年）役小角と言う修験者がこの御窟に参籠して神感を受け、その後泰澄、道智、弘法、安然、日蓮などの名僧が次々行を練り高い御神徳を仰いだと伝えられる。その後仏教との習合によって金亀山与願寺と号し、源頼朝は鳥居を奉納し、北条時政は参籠して奇瑞を蒙り、龍の三つ鱗を授けられ、それを家紋とした。また後宇多天皇は蒙古軍を撃ち退けた御礼として江島大明神の勅額を奉納されるなど朝廷及び武將を始め庶民の信仰も篤く、江戸時代には江島弁財天への信仰が集まり江ノ島詣の人々で大変な賑わいを見せた。

現在でも境内各所や社蔵の浮世絵等で当時の様子を窺い知ることが出来る。特に中津宮には、江戸堺町中村座、江戸葦屋町市村座、江戸新肴場和泉甚左衛門等が奉納した石燈籠があり、江ノ島入口には数多くの寄進者達の名前を刻んだ青銅の鳥居などがある。しかし神仏習合の時代も江島大神としての御神威はいささかも曇り給う事なく御神徳はいよいよ広大に仰がれた。

明治初年の神仏分離によって仏式を全廃して純神道に復し、改めて江島神社と号し現在に至る。

## 三、御社殿

## 奥津宮

昔、本宮御旅所と称され、社殿は壮麗を極めたが、天保十二年（一八四一年）に焼失し、翌十三年に再建したのが現在の御社殿で昭和五十四年御屋根を修復した。入母屋造り。養和二年（一一八二年）源頼朝奉納の石鳥居や拝殿天井には江戸の絵師酒井抱一画の「八方睨みの亀」は有名である。

## 中津宮

文徳天皇仁壽三年（八五三年）の創建で、その後元禄二年（一六八九年）改築。昭和五十五年の御屋根修復を経て平成八年全面的な御改修を行ない元禄二年改築当時の朱色鮮明な御社殿を再現、幣殿、拝殿の天井には花鳥画を施し、更に彫刻等を復元した。

権現造り。境内に奉納された石燈籠等は江戸時代における商人・芸人・庶民の信仰の深さを物語っている。

## 辺津宮

土御門天皇建永元年（一二〇六年）源實朝が創建。

延寶三年（一六七五年）再建。昭和五十一年大改修が行われた。権現造り。

## 四、御例祭

当社では四月初巳の日に献幣使参向のもと初巳例大祭（春季大祭）と十月初亥の日に古式初亥祭（秋季大祭）を一歳両度の祭祀として欽明天皇の御代より連綿と継承されている。

## 五、御末社

## 八坂神社

御祭神 建速須佐之男命

社殿 銅葺 入母屋造り。江戸時代は天王社として祀られ弘化元年（一八四四年）再建。明治六年八坂神社と改称。

平成十四年に御改築。

## 例祭 七月十四日

御神体は命の御木像である。昔対岸の腰越に祀られていた社が大波で流され御窟前の海中に沈んでいた御神体を漁師が拾い上げて此処に祀ったものである。祭礼は華麗を極め、毎年七月十四日に近い日曜日に渡御が行われる。島人が列をなして天王囃子という里神楽にて優雅な調べを奏でながら神輿は辺津宮より参道を練り弁天橋際から海に昇ぎ入れ囃子を奏でる中、浮きつつ沈みつつ真裸体になって揉み合い勇壮な禊が行われる。上陸後、ゆかりの腰越まで渡御されるを古例とし、大変な股賑を極め湘南唯一の夏祭りとして有名である。

## 稲荷社





奥津宮

秋葉社

御祭神 豊宇氣毘賣命 火之迦具土神

社 殿 銅葺、入母屋造り。

秋葉稻荷・与三郎稻荷・漁護稻荷など島内の随所に祀ってあった小祀を合祀した社である。

龍宮（わだつみのみや）

御祭神 龍宮大神

例祭 九月九日

江の島は湧出以来龍神の坐す処となり、古来龍神信仰は弁財天信仰と習合せられ、その密接なる結び付きから「江島縁起」を始め「太平記」等に多くの伝説が残されている。その神秘的な御神威に添い奉るべく、崇敬者の赤誠溢れる御篤志により此地に御鎮座になった。（平成六年九月八日）

#### 奉安殿

昭和四十五年に妙音弁財天、八臂弁財天の御尊像を奉祀する為に造営された八角のお堂で、中には十五童子像、後宇多天皇の勅額、弁財天像扁額、弘法大師の手形が押された護摩修法による弁財天像がある。拝観料は大人一五〇円、中高生一〇〇円、小人五〇円。（二十五名から団体割引）

#### 妙音弁財天

俗に裸弁財天とも言われ琵琶を抱えた全裸体の座像である。この御尊像は女性の象徴を全て備えられた大変珍しい御姿で鎌倉時代中期の傑作とされている。

#### 八臂弁財天（重要文化財）

鎌倉時代初期の作で、源頼朝が鎌倉に幕府を開く時、奥州の藤原秀衡調伏祈願のため文覚上人に命じて江の島に勧請せしめ、二十一日間祈願させた事が「吾妻鏡」に記されている。

当江の島、安芸の宮島、近江の竹生島が世に言われる日本三大弁財天である。

#### 六、境内

#### 福石

昔、杉山検校が社に参籠して、その結願の日の帰路にこの石に躓き、松葉の入った竹の管を拾い、この時弁財天女の影向を拝み、管鍼の妙術を授けられた場所。後に検校はこの術で時の將軍綱吉の持病を癒し、遂に総検校の地位を得て殊遇を蒙ったと言われている。



八臂弁財天御尊像

いる。そこからこの石の傍で物を拾えば必ず福運を授かるという伝えから福石と名付けられたのである。

杉山検校の墓（重要文化財）

江の島西浦霊園に検校の墓がある。元禄七年（一六九四年）に建立されたもので墓石には前惣検校即明院殿眼元清權大僧都と刻まれており、毎年五月には、杉山流の鍼灸按摩マッサージ指庄師の人々により盛大に墓前祭並びに神恩感謝祭が執行される。

瑞心門

龍宮城を模して造営された御神門で、その両袖には鮮かな色彩にて唐獅子画や牡丹の天井画が描かれている。清々しい心で参拝していただけるようにと命名された。

（昭和六十一年十二月七日）

群猿報賽像庚申塔（重要文化財）

庚申塔としては大変珍しい構図である。花崗岩製。江戸造り。

檜製、施彩色、座像、像高一尺九寸。重要文化財。

○妙音弁財天御尊像 一体

檜製、座像、像高一尺八寸。

○弁財天像 一面

天長七年（八三〇年）七月七日弘法大師御窟に参籠し、護摩修法の灰を以て作る。裏に大師の手形がある。

○制札 一枚

大鷹紙。天正十八年（一五九〇年）卯月太閤秀吉が江島寺に於て軍勢等乱暴猖獗を禁制したもの。

○八臂弁財天御尊像 一体

墨界紙本。

得瑞島上宮縁起 一卷

朱界紙本、奥書に云う、永承二年（一〇四七年）七月二十六日延暦寺伝燈大法師位皇慶の作。享禄四年（一五三二年）七月二十八日肥後住人清鏡乗海筆。

○江島縁起 一卷

金界天地金箔切砂子紙本。延寶年間、狩野派絵師の筆。

七、御宝物

四面に彫られた猿は全部で三十六匹で様々な姿態で神徳に奉養している構図である。庚申塔としては大変珍しいものである。花崗岩製。江戸造り。

○江島縁起 一卷

朱界紙本、奥書に云う、永承二年（一〇四七年）七月二十六日延暦寺伝燈大法師位皇慶の作。享禄四年（一五三二年）七月二十八日肥後住人清鏡乗海筆。

○得瑞島上宮縁起 一卷

墨界紙本。

○八臂弁財天御尊像 一体

文覚上人扁額 一面

石彫。長方形で金亀山とある。養和二年（一一八二年）文覚上人の筆。

○役行者像 一体

楠製、像高一尺四寸。役小角自作と云う。

○江島大草子 二巻

○江島大明神勅額 一面

檜製、長方形。建治元年（一二七五年）九月二十三日後宇多天皇の勅額であると伝えられる。

○八方睨亀扁額 一面

享和三年（一八〇三年）酒井抱一筆。

○太刀 一口

肥前国河内大塚藤原正広作。重要文化財。

文覚上人扁額 一面

石彫。長方形で金亀山とある。養和二年（一一八二年）文覚上人の筆。

○役行者像 一体

楠製、像高一尺四寸。役小角自作と云う。

○江島大草子 二巻

○江島大明神勅額 一面

檜製、長方形。建治元年（一二七五年）九月二十三日後宇多天皇の勅額であると伝えられる。

○八方睨亀扁額 一面

享和三年（一八〇三年）酒井抱一筆。

○太刀 一口

肥前国河内大塚藤原正広作。重要文化財。



妙音弁財天御尊像

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院

江の島一山の総別当であった岩本院



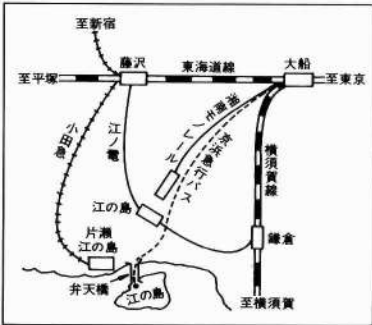
交通安全祈願所 平成15年竣工



奉安殿



白竜王黄金浄水



九、交通